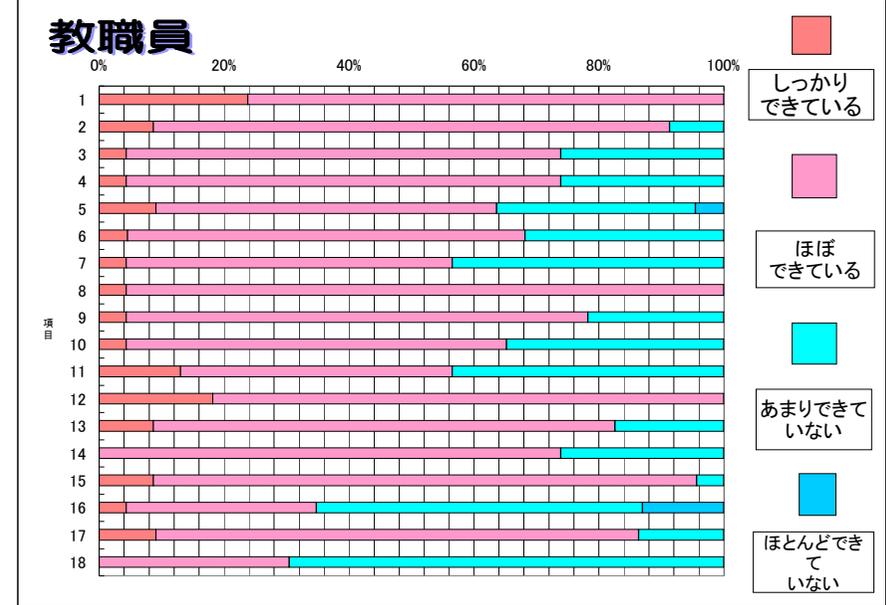
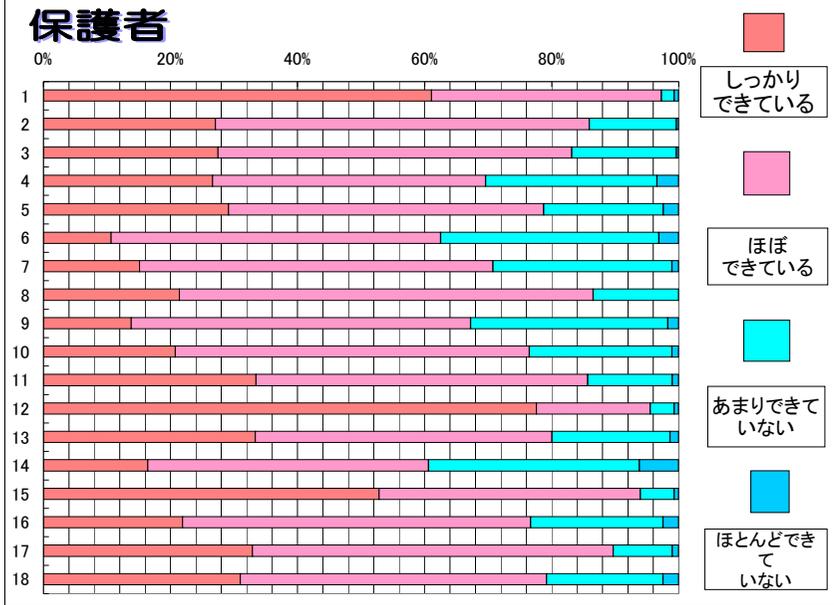
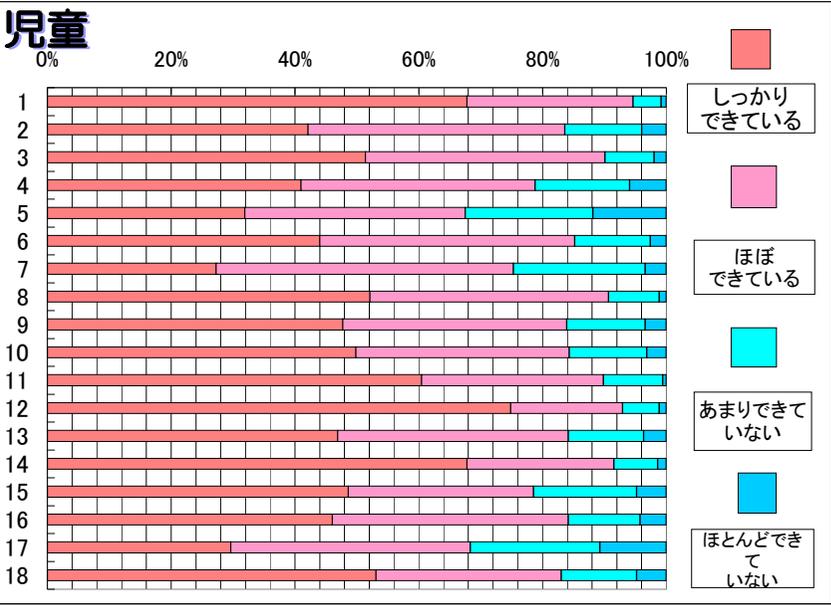


7月にご協力いただいたアンケートの集計ができました。児童・保護者・教職員が同じ項目内容のアンケートを行いました。その結果から、子どもたちや保護者の方々の様々なおもしろい、課題が浮かび上がってきました。

1	学校では、楽しくさせている。	10	他の人のよいところをほめたり、お手本にしようとしていたりしている。
2	できないことが、できるように、挑戦している。	11	友だちや身近な人にあいさつをしている。
3	自分やみんなのものを大切にしている。	12	朝は集団登校で学校に来て、帰りは通学路を守って帰っている。
4	自分から学習する習慣がついている。	13	忘れ物をしないようにしている。
5	早寝・早起きなど規則正しい生活ができています。	14	後片付けをしっかりとっている。
6	じっくり考える学習ができています。	15	チャイムの合図を守っている。
7	人の話をしっかりと聞いたり、自分のおもしろい考えを話したりすることが	16	廊下や階段で遊ばずに、静かに歩いている。
8	授業で学習したことが、理解できている。	17	安全な自転車の乗り方や、歩行の仕方を知り、交通ルールを守っている。
9	自分のよいところを伸ばし、悪いところを直そうとしている。	18	トイレのスリッパをそろえている。



☆全体的に「できている」と答えた子どもが多くを占めました。  
まずほとんどの子どもたちが学校は楽しいと答えています。また、「授業で学習したことは理解できている」と答えている子どもが8割以上を占めています。このことから、本校の子どもたちの多くが、学校生活を楽しみながら学んでいると言えます。  
逆に「自分から学習する習慣がついている」という問いに対して、「できていない」と評価した児童が2割近くいました。また、「できないことができるように挑戦している」「じっくり考える学習ができていない」という問いに対しても同じような結果でした。このことから、大人から言われたらするけれど自分からは進んでしない子どもたちの姿が浮かんできます。また、集団登校は「よくできている」と答えているのに対して「安全に気をつけること」や「あいさつ」に関する評価は2割の子どもがあまりできていないと答えていました。

☆全体的に「しっかりできている」は、1と9のみが高い割合を占めました。その中でも「子どもたちが楽しく学校生活をすごしている」と「集団登校」に関しては高い評価結果でした。これは子どもたちの結果と一致しています。しかし、6の「自分のよいところを伸ばす」に対して、「しっかりできている」と答えた方は2割という評価結果でした。  
学習面では、「授業で学習したことは理解できている」で「できている」は8割以上を占めていますが「自分から学習する習慣」や「じっくり考える学習」が「できていない」という評価をされている方が4割ほどありました。アンケート結果の傾向は子どもたちと似ていますが、子どもたちが考える以上に「よりよくなってほしい」という保護者の願いが表れているように思いました。

☆「しっかりできている」と答えた割合はあまり高くありませんでしたが、この10項目に関しては「ほとんどできていない」という評価もありませんでした。「できている」という評価が高かったのは1・5・9でした。子どもたちが楽しく学校に来てしっかり学ぶことができている、と評価しています。また、集団登校に関しては保護者と同じように地域の方々に見守られながら登下校することができていると考え、高い評価をしています。  
逆に「あまりできていない」という評価が最も多かったのは、10で子どもたちの安全に対する意識が十分ではないと考えています。また、「あいさつ」に関しても「しっかりできていない」と厳しい評価をしています。  
全体的に「しっかりできている」「ほぼできている」を合わせたアンケート結果は保護者と同傾向です。ただ、ご家庭で我が子を見る視点と、多数の児童を見る視点との違いがあるために、評価する基準も違い「しっかりできている」と「ほぼできている」との差が表れたのでしょうか。

## 子どもたちに「安全意識」「あいさつ」そして「努力の継続」と「新しいことに挑戦する力」を!

◎アンケートの結果を、児童・保護者・教職員で比較すると明らかな違いが見られます。児童は、8割以上が大体「できている」と評価していますが、保護者・教職員は「できている」が8割以下の項目が多くあります。また、三者共「できないことができるようにしている」に対してほとんどが「できている」と評価していますが、3・4・6・7など根気強く努力することを要する内容に対しては評価が低いという結果でした。これらのことから、本校では「根気強く努力する力」「挑戦する力」の二つの力の育成がより必要であると考えています。そして、各学年・学級でこれらの力をどのように育てていくのか、具体的に考えていきたいと思います。  
◎9においては、児童・保護者・教職員ともに大変高い評価結果が出ています。これは、地域の方々を中心に、子どもたちが安全に登下校ができるように見守っていただいている努力の成果だと考えます。本当に頭が下がる思いでいっぱいです。しかし、安全意識の持ち方は児童と大人に大きな違いがあります。また、あいさつができていない子もいます。やはり、地域の方に見守っていただくことに頼るだけでなく、子どもたち自身が安全に対する意識を高くもち、登下校の安全や自転車の乗り方に十分気を付けるように、そして気持ちのよいあいさつができるよう、指導を進めていきたいと思います。

